

グランフロント大阪

69

うめきたエリアに現れた新たな価値を創造する「まち」

2013年、JR梅田貨物駅跡地・うめきた地区の再開発1期としてオープンしたグランフロント大阪。約7haの広大なスペースは単なる商業施設ではなく、せせらぎや豊かな緑を感じられる空間もあり、人が出会い交流する「まち」でもあります。新たなアイデアやイノベーションを育むことをめざし、様々なプロジェクトが進行中。



多様な出会いと交流を演出 コミュニティを育む

グランフロント大阪はファッション、ライフスタイル、グルメなど、たくさんの店舗が集まり、ショッピングエリアとして人気の高いスポットですが、実はイノベーションを生むコミュニティとしても大きな役割を担っています。

北館にあるナレッジキャピタルは研究者などの専門家と市民と一緒に新たな価値を生み出す「知的創造・交流の場」。企業や大学などの最新技術や活動を展示するエリア「アクティブラボ」や、多様な文化や情報が行き交うコミュニケーションカフェ「カフェラボ」があり、科学、芸術、文化、ビジネスなど様々な分野の企業や人をサポートする「ナレッジサロン」など、あらゆる施設が揃っています。ショッピングや食事を楽しむだけでなく、出会いと交流もある「まち」のような場なのです。今後は次世代都市空間をめざす「うめきた2期地区開発プロジェクト」により、さらにたくさんの人々が集う唯一無二の存在になることでしょう。



幅広い年齢層が集う「ナレッジキャピタル」

賑わいを生み出すサークル活動「SOCIO」

施設を訪れるだけでなく、様々なコミュニティで仲間づくりができるのもグランフロント大阪の魅力です。公認のサークル活動「SOCIO(ソシオ)」では、施設内のいろいろなスペースでアート、音楽、スポーツ、ヘルスケアなど多彩なプログラムを実施。人が出会い、交流してその輪を広げていく場となっています。興味を引かれる活動があれば、気軽に参加してみたいかがでしょうか。



音楽を楽しく演奏することで人がつながる「プレイヤーズソシオ」

MINI COLUMN 緑豊かなスポットがいっぱい！

緑豊かな風景を散歩気分を楽しめるのも特徴のひとつ。例えば、南館と北館の間を東西に横断するけやき並木、北館の西側に広がるイチョウ並木などは季節によって表情が変わり、都会の喧騒を忘れてゆったりと過ごすことができます。また南館・北館9階の屋上に計10,000㎡を超えるテラスガーデンがあり、訪れる人の癒しの場となっています。



緑あふれる景観が広がる北館のテラスガーデン

グランフロント大阪

▶うめきた広場：大深町 4-1 / 南館：同 4-20 / 北館：同 3-1
☎ 06-6372-6300(グランフロント大阪コールセンター / 受付時間：10:00～21:00)
☎ 06-6372-6530(ナレッジキャピタル / 受付時間：平日 10:00～17:00)
※[ナレッジキャピタル]に関する詳細はナレッジキャピタルのHPにて <https://kc-i.jp/>

梅田スカイビル (新梅田シティ)

70



梅田にそびえる「空中都市」

タージマハル(インド)やサグラダ・ファミリア(スペイン)などと並び、イギリスのメディアで「世界の建造物トップ20」に日本で唯一選ばれた梅田スカイビル。空中庭園展望台(有料)は360度の眺望が海外観光客にも大人気。美術館や映画館、昭和レトロな街並みを再現した飲食店街もあり、一日中遊べます。



梅田スカイビル

▶大淀中 1-1-88
☎ 06-6440-3855(空中庭園展望台)
9:30～22:30(最終入場 22:00)
展望台入場料：大人 1,500円、4歳～小学生 700円

「自然との共存」をめざしたデザイン

梅田スカイビルは地上40階、高さ173メートル。超高層ビル2棟の最上部が空中庭園で結ばれた個性的な姿は梅田のランドマークです。設計した建築家・原広司さんが「空中都市」のコンセプトを最新技術で実現しました。

見どころはダイナミックな建築以外にも。梅田スカイビルがある新梅田シティは「自然との共存」をテーマに開発されました。敷地内にある大小八つの穴に込められた「風水思想」は見るべきポイント。平城京、平安京など古来から日本の都づくりに流れる思想が受け継がれています。空中庭園の中央は直径30メートル以上の穴。ビル2棟の間の公開空地は広場「ワンダースクエア」。緑の空間「中自然の森」や「花野～新・里山～」にも、街に幸運をもたらす「生気」が流れるように「空間の穴」がイメージされています。



シースルーの空中エスカレーターが大きな穴を通り抜け、40階の「空中庭園展望台」へと続く

MINI COLUMN 「世界の建造物トップ20」への選出はあのミシュランガイドがきっかけ

2008年に英紙タイムズで紹介された「世界の建造物トップ20」に選出された理由は、実はレストランを星の数でランク付けするミシュランガイドがきっかけ。「グリーンミシュラン」と呼ばれる訪日外国人向けに発行された日本ガイドブックで、施設は1つ星、景色は2つ星と評価され注目を浴びました。「これほどアドレナリンがあふれ出るスリルに満ちた高層ビルはない」と海外から観光客が連日押し寄せるようになったのです。



日本の原風景「里山」を再現した「花野～新・里山～」



ワンダースクエアに本場ドイツながらのクリスマスマーケットが登場し、大人気です

地域とともに生きていく

自然環境を尊ぶ体験を通じて、地域とのつながりを大切にしてきたのも魅力のひとつ。北側に広がる「花野～新・里山～」では、地元大淀小学校の児童たちが田植えや稲刈りなどを体験。南側の「中自然の森」では初夏に蛍が舞う姿を楽しむことができます。ワンダースクエアでの「ドイツ・クリスマスマーケット」は、今や遠方からも多くの人が訪れる梅田の冬の風物詩。こうした地域に開かれたストーリーも梅田スカイビルの存在感を生み出しています。